

「歩く県道・銀山街道」

地域づくりニュース H28 Vol.3

第3回「歩く県道（銀山街道）」地域づくり検討会を開催し、来年度の街道整備や銀山街道を活用した地域づくりについて話し合いました。

平成24年度から銀山街道の道普請を開始し、ぬかるみを解消したり安全に歩けるように補修工事を行ってきたことで、銀山峠と美女峠の歩行環境は大分改善されてきましたが、吉尾峠については対策の必要な箇所がまだ多く残っています。これからも道普請を継続し、銀山街道を活用した取り組みをさらに進めていくために、活発な意見交換を行いました。

第3回「歩く県道（銀山街道）」地域づくり検討会開催概要

- 日時 ● 平成29年2月24日（金）13時30分～15時20分 三島町町民センター1階和室にて開催
- 参加者 ● 銀山街道を活用して地域を元気にする会、東北芸術工科大学教員・OB、三島町・金山町・昭和村・只見町役場、南会津建設事務所、会津若松建設事務所 合計21名
- 話し合われたこと ●
 - ✚ 来年度の街道整備（道普請）について
 - ✚ 道普請の「これまで」と「これから」
 - ✚ 銀山街道を活用した地域づくりについて
 - ✚ 「会津銀山街道 交流会」開催について



来年度の街道整備（道普請）について

- 平成29年度の年間スケジュールについて調整を行った結果、現地調査と道普請、検討会を今年度と同じ時期に実施する予定としました。
5月：現地調査 7月：第1回地域づくり検討会 9月：道普請 10月：ウォーキング大会等のイベント開催 12月：第2回地域づくり検討会 2月：第3回地域づくり検討会
※ 上記記載の内容は予定であり、今後変更になる場合があります。
- 来年度は吉尾峠の只見側についても道普請を行う予定となっており、会津若松建設事務所と南会津建設事務所が連携して取り組みを進めていきます。次年度以降に整備したい箇所を確認しました。

美女峠 わだち掘れが酷い箇所
（今年度山道落差工を施工）



丸太を鉄筋杭で固定したり、土のう袋を充填して、車の通行が可能な状態にしたい。

吉尾峠（昭和側）
道が流失した箇所



山側側溝や横断側溝を整備して排水効果を高め、路肩を丸太で土留したい。

吉尾峠（布沢側）
吉尾集落付近のぬかるみ箇所



沢水が道路に溢れ出てぬかるんでいるので、本線の川に排水できるように土砂を撤去して側溝を整備したい。

銀山峠は、平成24年度から26年度までの道普請で整備が必要な箇所の補修作業は終了しているので、現地調査を実施して、対策の必要な箇所があれば対策を考えることとしました。

美女峠については、水はけが悪くぬかるんでいる箇所についても早目に対策したいとの意見があり、吉尾集落周辺のぬかるみ箇所を整備するにあたっては、小さな重機を使用してはどうかとの提案もあります。雪解け後に現地調査を実施して状況を確認し、整備箇所や施工方法を検討することとしました。

道普請の「これまで」と「これから」

第2回地域づくり検討会（平成28年12月16日開催）において、参加者のみなさまに提出していただいた道普請や銀山街道の整備に関する感想や意見を基にして、今後取り組みを進めていくうえで、課題を解決するための具体的な方策等について検討しました。

検討会での主な意見をご紹介します

道普請について

- ◆ 資材の運搬は大変だが、道幅等を考慮すると人力で作業せざるを得ない。車輛の乗り入れが可能な箇所については、負担を軽減するために小型運搬車の導入を検討してほしい。
- ◆ 学生ボランティアを募ったり、他のイベントと合わせて道普請を行うなど、参加者を集める工夫が必要である。
- ◆ より多くの人に取り組みを知ってもらうために、県や町、個人のホームページを利用してPRするのが効果的だと思う。
- ◆ 参加者を班分けして一人ひとりの役割を決めた方が、作業の進行がスムーズになると思う。
- ◆ 地元で行っている草刈りをイベント化し、遠方の人に協力してもらうことで、メンテナンスを長く続けることができると思う。
- ◆ ロングトレイル等のイベントの時に道普請をPRし、実際に道普請に参加してもらうことで、取り組みに広がりが出ると思う。

資材の運搬作業の様子



東北芸術工科大学の学生の方
達に参加して頂いた道普請



元気にする会が新たに設置
したロゴマーク入りの看板



銀山街道の整備について

- ◆ 現在地から次のポイント地点までの距離を表示した看板を設置することで、訪れた人が安心して歩けるようになると思う。統一した看板を設置したい。
- ◆ 地元の人がガイドとなり、訪れた人と一緒に歩いて地域の魅力を伝えられるようになれば良いと思う。
- ◆ 地元の人で案内ができる人が少ないので、案内人の養成についても考えていきたい。
- ◆ 会津若松から只見町小林までの全延長 72 km を歩けるように整備してほしい。

銀山街道を活用した地域づくりについて

銀山街道を活用して地域を元気にする会事務局の五十嵐政人氏より、今年度の活動についての成果と課題や次年度以降の活動予定について報告がありました。

- 整備と活用を同時に進めることを基本として活動に取り組み、道普請やロングトレイルの参加者から高評価を得ることができている。地元の参加が少ない点が課題の1つなので、沿線地区住民を対象にした懇談会を開催したり、町村広報誌の活用やニューズレターの回覧などを通して、地域住民の理解と協力を得たい。
- 街道はいくつもの町村に跨っている。広域連携のシステムを作り協力して取り組みを進めたい。
- 麓の集落に観光案内所を設置したり、街道地図を折り込んだガイドブックの発行などを通して交流人口の拡大に繋げたい。昨年度までのロングトレイルはバスを利用していたが、今年度は、会津若松から只見町小林までの延長 72 km 全線を歩くかたちで開催したい。

次年度は南会津建設事務所でも吉尾峠（只見側）の道普請を行う予定です。銀山街道全体を視野に入れた整備を進めることで、より多くの人に利活用していただける峠道にしていきたいと思えます。これからも、地域の皆様と共に銀山街道を活用した地域づくりに取り組んでまいりますので、御協力をお願いいたします。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455 FAX 0242-29-5459

福島県南会津建設事務所 企画調査課

TEL 0241-62-5322 FAX 0241-62-5340